



鞆の浦学園だより

No.18

2025年(令和7年)1月7日



3学期、決意も新たにスタート!

教室には、新年を迎え気持ちも新たにした子ども達を温かく迎える先生からのメッセージがありました!子ども達の登校を待っていました!

あけましておめでとうございます!

~3学期、そして次年度0学期が始まります~

今年の干支は「巳」、へビは古来より神聖な生き物でたくましい生命力があり、脱皮をするたびに変化、成長をくり返すとされています。2025年(令和7年)は、「努力を重ね、物事を安定させていく」年になると言われ、これまでの努力や準備が実を結び始める年になります。

新しい年が始まり、子ども達も気持ちを新たに元気な顔で登校しました。

子ども達は年末年始に家族と過ごし多くの愛情を感じ、頑張るエネルギーを充電して新学期を迎えたことでしょう。

3学期は次年度の0学期、来年度を見据えしっかりと力をつける学期にしていきます。

新年を迎えるにあたり、本学園が大切にしてきたことを教職員と確認しました。



1 すべての活動に主体性と責任感

- ・児童生徒が本気で学びたいと思って学んでいる。
- ・自分(達)の力で判断し、行動し、結果に責任を持つ。
- ・指示や失敗させない取組では、主体性と責任感は育たない。

2 安心して学べる共感・支持的文化

- ・安心して学べる学級・学園に育っているのかを問い続ける。
- ・人間関係に優劣や勝ち負けの風土があると安心して学べない。
- ・学校や学級の活動など全ての場面で、児童生徒が自らの人権感覚を発揮する。
- ・いじめの芽を絶えず子ども達同士が摘み続ける集団を育てる。

3 学びたくなる環境

- ・学園全体で、子ども達の学びたくなる気持ちを沸き立てる。
- ・教室も廊下もホールも掲示物等も含めて、全てを学びの環境にする。
- ・元気が出て、笑顔が見られ、心が躍動する環境を常に心掛ける。

4 鍛え続ける風土

- ・授業や活動を通し、子ども達が成長を実感できる。
- ・社会を生き抜くために必要な力を問う。

今朝の始業式で、人が失敗したり間違ったりしても馬鹿にしない人に育ってほしいこと、自分には出来ないと思いつむのではなく一歩踏み出し挑戦してほしいこと、努力を重ね実を結ぶ年にしてほしいことを伝えました。このことが豊かな人生の確かな基盤を育てます。

学園の原点を確認しながら、今年もさらに豊かな教育を目指し取組を進めます。



ホールには、「今年の抱負」や「福笑い」

廊下には子ども達の「年賀状」

保健室前には、「健康おみくじ」



始業式・学級での様子!



始業式では、学園会会長が「3学期はまとめの学期です。仲間との絆を大切に、目標をもって頑張っていきましょう。互いの気持ちを考えて気持ち良く学園生活を送っていけるようにしましょう。」と話し、「新・幸せの道」についても全校に提示し、みんなで新たなスタートをきることができました。そして各教室に戻り、3学期の目標を考えました。

一人一人が自分の目標に向かって努力を続けさらに成長していける年にしていきましょう!